

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	南あわじ市立八木小学校 主幹教諭 立石 佳史	研究グループ名 授業研究グループなみまつ	68
-----------------	---------------------------	-------------------------	----

研究テーマ分類番号 (15)

(1) 研究テーマ	
特別な支援を必要とする児童に有効な授業方法の工夫	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
6月 6日 (金) 17:00～ 18:00	研究の方向についての協議・計画 1 実施場所 八木小学校 会議室 2 参加人数 6名 (グループ構成員) 3 内容 計画作り なぜ特別支援教育が、今必要なのか？ 研修会の流れの確認 研究文献の紹介 「学級担任必携!発達障がいの子どもの“教えてほめる” トレーニング BOOK」(明治図書)
6月13日 (金) 17:00～ 18:00	第1回 特別支援教育の基礎 文献研究 1 実施場所 八木小学校 会議室 2 参加人数 8名 (グループ構成員とそれ以外) 3 内容 特別支援教育基礎講座1 各学級や授業での困り感を共有した後、文献により、落ち着いて学習できる教室環境などについて共通理解した。 文献「特別支援教育教え方教室 39号」他
6月29日 (金) 17:00～ 18:00	第2回 特別支援教育で有効な教材教具・文献研究 1 実施場所 八木小学校 会議室 2 参加人数 6名 (グループ構成員) 3 内容 有効な教材教具 「ソーシャルスキルカルタ」 社会性を身につけるカルタ。身につけさせたい社会的スキルをカルタにしたもの。何回もやることで、その行動様式が子ども

	に無理なく入っていく。これを実際に模擬授業形式でやってみる 成果としては新しい教材教具の使い方を実際に見て理解できたこと 日ごろの実践で困っていること Q「いつも行動が遅い子がいる。どのように指導したらいいか」 A低学年の間は、一緒に手伝ってあげるのがいい。最後の1つだけ自分でしまわせて、「できたね」と褒め続ける方法もある。 ※いくつか質問を出してもらい、具体的な支援の内容について協議
7月11日（金） 17:00～ 18:00	第3回 特別支援教育で有効な指示、発問・文献研究 1 実施場所 八木小学校 会議室 2 参加人数 7名（グループ構成員とそれ以外） 3 内容 有効な教材教具「百玉そろばん」 目で見てはっきりと、することが分かり、しかもリズムのいい音がする。特別支援的に最適な教材。このやり方を研修 特別支援教育基礎講座2 低学年に多い多動傾向の児童に対しての、対応方法について学び、共通理解した。 特別支援教育QA 授業中出し抜けに質問をする子がいる。どのようにしたらいいか？ A 授業に関係していることなので発言自体はいい。ただし、しゃべりすぎるのであれば、今はあなたと先生だけの授業じゃないということをもっともいいのでは その他多くのQが出された。
11月14日（金） 17:00～ 18:00	第4回 特別支援教育で有効な環境・文献研究 1 実施場所 八木小学校 会議室 2 参加人数 5名（グループ構成員） 3 内容 特別支援教育基礎講座3 怒ってはいけませんが、全く叱ってはいけないということではない。緊張させる場面を意図的に作り出すことで児童の集中を生み出すことができることが分かった。 特別支援の対応を重視した文献研究 「特別支援教育教え方教室 第42号」 支援か指導か迷う場面の特集。特別な支援を要する子へ指導する際に、指導ポイントが分からない場合がある。ここで指導しなければならないのに流してしまった等の失敗を例にとって文献から研究。 成果としては指導しなければいけない場面では毅然として指導するなどメリハリが必要ということが共通理解できたことである。

1 月中旬 予定	特別支援教育Q A 行事のあとの調子が悪い時がある。どうしたらいいのか？ A 行事で無理をしていることを教師が分かってあげないといけない。全部参加するのではなく、部分的に息を抜く場面を作ってもいいのでは。 その他多くの質問が出された。 講師招聘・・・特別支援教育に造詣の深い先生を招いて研究 1 実施場所 八木小学校 会議室 予定 2 参加人数 10名（グループ構成員とそれ以外） 予定 3 内容 予定 1 特別支援教育基礎講座 ① 教室環境について ② 基本的な考え方 ③ 授業中、配慮すべき事 見やすさ・わかりやすさ等 ④ 間違った対応をしていませんか ⑤ パニックになった時の対応
1 月中旬 予定	活動のまとめ 1 実施場所 八木小学校 会議室 予定 2 参加人数 6名（グループ構成員） 予定 3 内容 年間活動のまとめ 次年度への計画